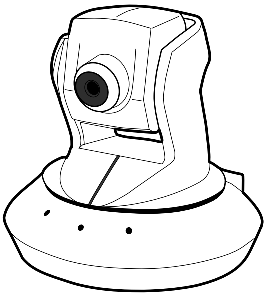
Logitec

Network Camera

パン／チルト対応　ネットワークカメラ

LAN-WC30/PT　【IEEE802.11g/11b準拠　無線モデル】
LAN-NC30/PT　【100BASE-TX 有線モデル】

添付ソフト操作マニュアル



このマニュアルは，ネットワークカメラの付属ソフトの操作方法について説明しています。
ネットワークカメラの操作，付属ソフトのインストール方法については，別冊のユーザーズマニュアルをお読みください。

ロジテック株式会社

●このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは紙面上の都合により，一部の表記を除いて“LAN-WC30/PT”および“LAN-NC30/PT”を「本製品」と表記しています。

●このマニュアルで使われている記号

記　号	意　味
注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと，けがや故障，火災などの原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
Esc，A	キーボード上のキーを表します。

ご注意

LAN-WC30/PT
LAN-NC30/PT

添付ソフト操作マニュアル

■ はじめに ■

重 要　このマニュアルは以下の場合にお読みください。

・ 本製品の添付ソフトの基本操作を参照する。

●添付ソフトのインストール手順については，別冊「ユーザーズマニュアル」をお読みください。
●このマニュアルでは一部の表記を除いて各製品名を「本製品」と表記しています。
●このマニュアルは，製品の導入後も大切に保管しておいてください。

もくじ

Chapter 1

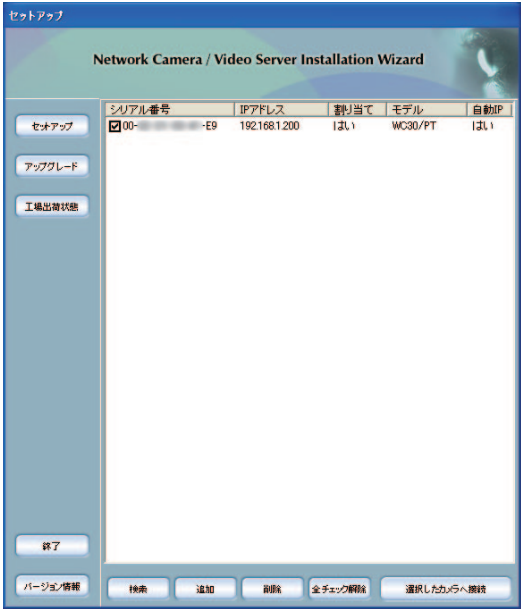
「セットアップ」の操作

本製品の添付ソフト「セットアップ」の基本操作について説明します。
「セットアップ」のインストール方法については，別冊の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

1 「セットアップ」について

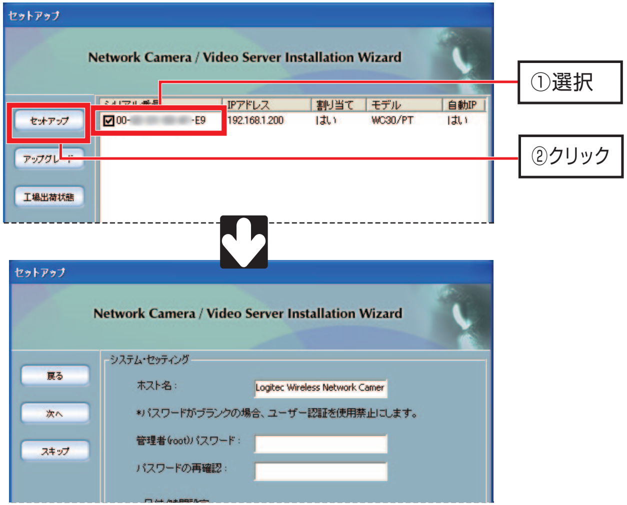
「セットアップ」は本製品のセットアップに使用するほか，セットアップが完了したあとも，次の機能を利用できます。

●複数カメラの切り替え
●ファームウェアのアップグレード
●本製品の設定を初期化



2 カメラをセットアップする

「セットアップ」でネットワーク上のカメラを選択し，セットアップをクリックすると，ウィザードにより本製品の初期設定ができます。
手順については，別冊のユーザーズマニュアルのP43「セットアップの実行」を参照してください。



3 複数のカメラ画像を切り替える

ネットワーク内に複数の本製品を設置している場合，「セットアップ」でカメラを切り替えることができます。

MEMO 複数のカメラの映像を同時に表示して切り替えるなど，監視カメラとしての用途には，「モニタ」の方が便利です。

カメラ画像の切り替え

カメラ画像の切り替えは，次の手順でおこないます。

カメラの識別はIPアドレスまたはシリアル番号（MACアドレス）でおこないます。あらかじめ使用するカメラのIPアドレスまたはシリアル番号をメモしておいてください。

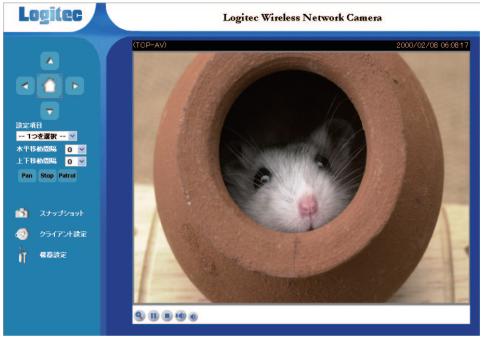
1 「セットアップ」から映像を表示させたいカメラを選択し，チェックボックスにチェック（√）を付けます。



2 選択したカメラへ接続をクリックします。

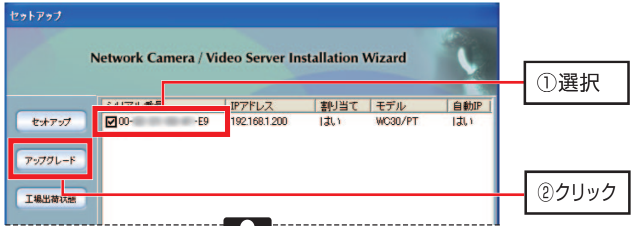


3 Webブラウザが起動し，選択したカメラの映像が表示されます。



4 ファームウェアをアップグレードする

「セットアップ」でネットワーク上のカメラを選択し，［アップグレード］をクリックすると，本製品のファームウェアを更新できます。
手順については，別冊のユーザーズマニュアルのP101「セットアッププログラムを使用してファームウェアを更新する」を参照してください。





注意
- ファームウェアの更新中は，すべてのインターネット接続が切断されます。
- ファームウェアの更新中は，本製品の設定を変更したり，本製品の電源を切ったりしないでください。本製品が故障するおそれがあります。

5 カメラの設定を初期状態に戻す

「セットアップ」でネットワーク上のカメラを選択し，工場出荷状態をクリックすると，本製品の設定を工場出荷時の初期状態に戻すことができます。
手順については，別冊のユーザーズマニュアルのP96「セットアッププログラムを使用して初期化する」を参照してください。

> 注意 本製品を工場出荷時の状態に戻すと，ネットワーク設定，映像設定など本製品の設定がすべて消去されます。工場出荷状態をクリックすると，確認ダイアログなしですぐに反映されますので注意してください。



[MEMO]

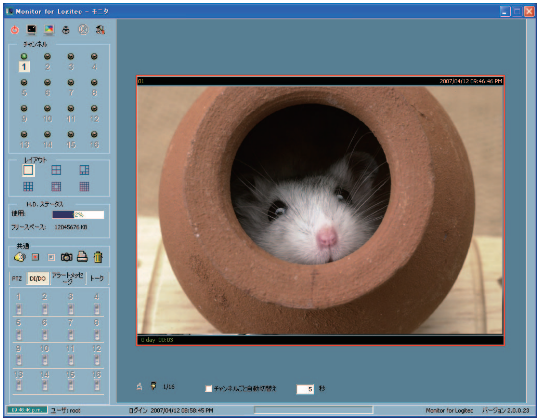
Chapter 2

「モニタ」の操作

本製品の添付ソフト「モニタ」の基本操作について説明します。
「モニタ」のインストール方法については，別冊の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

1 「モニタ」について

「モニタ」は監視カメラなどの用途で複数の本製品を制御する場合に，Webブラウザからよりも充実したモニタ機能を提供します。
複数のカメラの映像を一画面に表示し，選択したカメラに対してパン／チルト，スナップショット，動画保存などを実行できます。



2 起動と終了

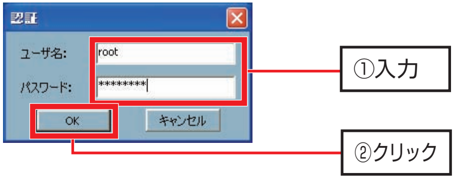
「モニタ」の起動方法／終了方法について説明します。

「モニタ」の起動

「モニタ」は次のいずれかの方法で起動します。

- デスクトップのアイコン（Camera Softモニタ）をダブルクリックする。
- ［スタート］メニューから［(すべての)プログラム］→［Logitec］→［Camera Soft］→［モニタ］を選択する。

認証画面が表示されますので，［ユーザ名］に「root」，［パスワード］にインストール時に登録したパスワードを入力し，OKをクリックします。



注意 「モニタ」を起動するには，インストール時に登録したrootパスワードを入力する必要があります。パスワードを入力しないと「モニタ」は起動できません。

MEMO 「モニタ」には，rootのほかに最大30名までユーザを登録できます。ユーザの登録／管理方法については，P50「ユーザ管理」を参照してください。

「モニタ」の終了

「モニタ」は次のいずれかの方法で終了します。

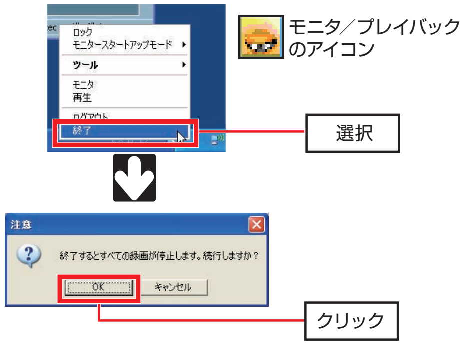
- **「終了ボタン」をクリックする**

  「モニタ」を終了します。また，「プレイバック」が起動している場合は「プレイバック」も終了します。この状態では，「モニタ」のプログラムはタスクバーに常駐しており，録画機能はバックグラウンドで実行しています。完全に終了するにはタスクバーのアイコンをクリックし，［終了］を選択します。



- **タスクバーのメニューから［終了］を選択する**

  「モニタ」および「プレイバック」を強制的に終了します。録画中のデータは停止します。



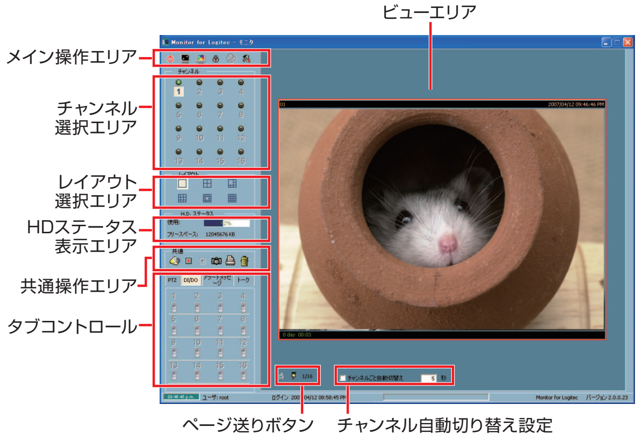
MEMO ●ログアウト
タスクバーのメニューから［ログアウト］を選択すると，再生とモニタのみ終了し，「モニタ」の制御をロックします。タスクバーは表示されていますので，再生およびモニタを再開したい場合は，タスクバーをクリックして［認証］ダイアログを表示し，ユーザ名，パスワードを入力してロックを解除したうえで，タスクバーのメニューから［モニタ］を選択します。

3 メイン画面

「モニタ」のメイン画面の項目と機能，タスクバーのメニュー項目について説明します。

メイン画面

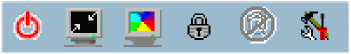
メイン画面の項目と機能について説明します。



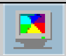
MEMO インストール直後の初期状態では，ネットワーク上にカメラがあっても，映像は表示されません。映像を表示するには「チャンネル」にカメラを登録する必要があります。登録方法については，P29「カメラを登録する」を参照してください。

メイン操作エリア

「モニタ」全体の制御をおこなうボタンが配置されたエリアです。



●メイン操作エリアの機能

 (終了ボタン)	「モニタ」を終了します。録画中の場合は強制的に停止します。
 (最小化ボタン)	ウィンドウの表示を最小化します。
 (最大化ボタン)	ウィンドウの表示をフルスクリーンに切り替えます。操作ボタン類は非表示になります。元の表示に戻すには，ウィンドウをダブルクリックします。
 (ロックボタン)	「モニタ」を起動したまま，操作をロックします。ロックを解除するには，表示されている［ロック解除］ダイアログに，登録済みのユーザ名とパスワードを入力して OK をクリックします。［ロック解除］ダイアログは一定時間経過後に自動的に閉じますが，タスクバーのアイコンをクリックすると，再び表示されます。
 (アラート停止ボタン)	本製品では，このボタンは使用できません。
 (設定ボタン)	詳細設定画面を選択するサブメニューを表示します。 ・カメラ設定　・基本設定 ・ディスプレイ&UI設定　・スケジューラ ・バックアップ　・バージョン情報

チャンネル選択エリア

ネットワーク内のカメラの状態を表示し，制御対象カメラを切り替えます。
各カメラには1～16の「チャンネル」を割り当てて制御します。
チャンネルにカメラを割り当て，ビューエリアに映像が表示されると，インジケータが緑色に点灯します。インジケータが点灯しているチャネルをクリックすることで，制御対象のカメラを切り替えます。
録画中のチャンネルは，インジケータが赤色に点灯します。
チャンネルの割り当ては，（設定ボタン）→［カメラ設定］でおこないます（→P29）。



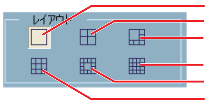
チャンネルにカメラを登録すると，チャンネル番号が黒色に変わり，インジケータが緑色に点灯します。（録画中は赤色に点灯）



チャンネルに登録されているが，ビューに表示されていない状態。

レイアウト選択エリア

メイン画面に表示される各カメラの画面のレイアウトを指定します。
レイアウトイメージをクリックすることで，レイアウトを切り替えます。
「モニタ」では各チャネルの画面を「ビュー」と呼びます。





●レイアウト選択エリアの機能

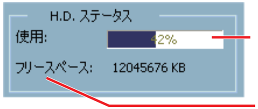
1分割表示	1ページの1チャンネル分の映像のみ表示します。 ページ送りボタンをクリックすると，チャンネル番号順に映像が切り替わります。
4分割表示	1ページに4チャンネル分の映像を同時に表示します。 ページ送りボタンをクリックすると，チャンネル番号順に映像が切り替わります。
6分割表示	1ページに6チャンネル分の映像を同時に表示します。 1つのチャンネルの映像のみ左上に大きく表示されます。 主に監視したいカメラの映像を割り当てるなどの用途に利用できます。
9分割表示	1ページに9チャンネル分の映像を同時に表示します。
13分割表示	1ページに13チャンネル分の映像を同時に表示します。 1つのチャンネルの映像のみ中央に大きく表示されます。 主に監視したいカメラの映像を割り当てるなどの用途に利用できます。
16分割表示	すべてのチャンネルの映像を1ページに表示します。

MEMO

6～16分割表示では，ページ送りボタンおよびチャンネル自動切り替え機能は使用できません。
画面にないチャンネルの映像を表示したい場合は，「チャンネル」からビューエリアにドラッグ&ドロップします（→P35）。

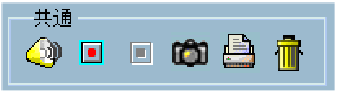
HDステータス表示エリア

スナップショット（静止画）／動画／スケジューラを保存するドライブの，ハードディスク使用率と残り容量を表示します。インストール直後の初期状態では，OSがインストールされたドライブの情報が表示されます。
各データの保存ディレクトリは，（設定ボタン）→［基本設定］画面の［ディレクトリ設定］で変更できます（→P41）。

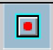


共通操作エリア

モニタ音量調整，録画操作などをおこないます。



●［共通］エリアの各ボタンの機能（1/2）

 （音量ボタン）	選択したチャンネルに割り当てられたカメラのモニタ音量を調整します。［ミュート］にチェック（√）を付けると，消音になります。
 （録画ボタン）	選択したチャンネルに割り当てられたカメラの映像を，ハードディスクに録画します。 録画操作の詳細については，P43「カメラの映像を録画する（手動録画）」を参照してください。
 （録画停止ボタン）	録画中にクリックすることで，録画を停止します。

●［共通］エリアの各ボタンの機能（2/2）

 （スナップショットボタン）	選択したチャンネルに割り当てられたカメラの映像を，静止画像（スナップショット）として保存します。 スナップショット操作の詳細については，P40「スナップショットを保存する」を参照してください。
 （印刷ボタン）	選択したチャンネルに割り当てられたカメラの映像を，プリンタに印刷します。
 （ごみ箱）	表示されているビューをこのアイコンにドラッグ&ドロップすることで，モニタ表示を削除します。削除したチャンネルのモニタを再開したい場合は，チャンネル番号を選択し，表示したいビューまでドラッグ&ドロップします。

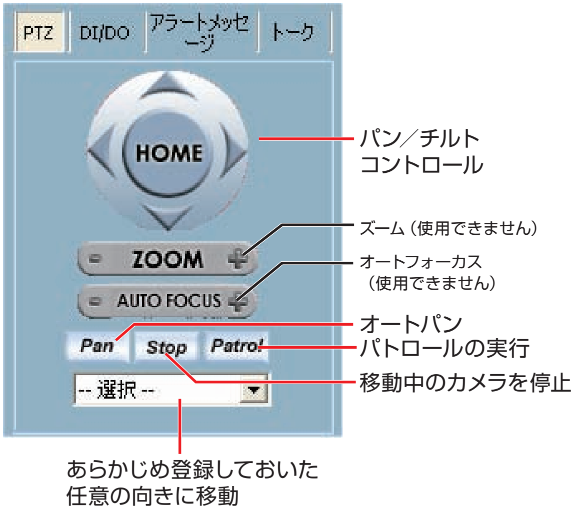
タブコントロールの機能

タブコントロールでは，次の各機能をタブで切り替えて使用します。

●PTZ（パン／チルト／ズームコントロール）　→P25
●DI/DO（デジタルI/Oコントロール）　→本製品では使用できません。
●アラートメッセージ　→P26
●トーク　→本製品では使用できません。

タブコントロール：PTZ（パン／チルト／ズームコントロール）

カメラの向きを左右上下に変えるほか（パン／チルト），オートパトロール機能を実行します。
ズーム機能（ZOOM），オートフォーカス機能（AUTO FOCUS）は，本製品では使用できません。



●PTZ（パン／チルト／ズームコントロール）の機能（1/2）

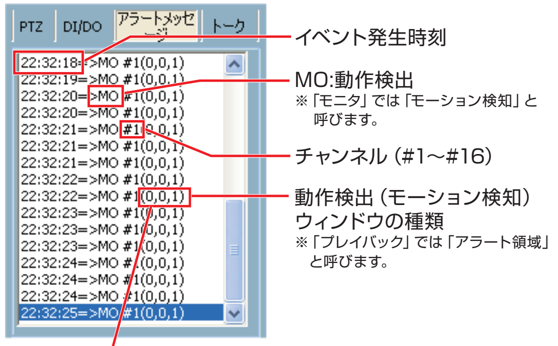
パン／チルトコントロール	矢印ボタンでカメラの向きを上下左右に移動します。 ［HOME］でカメラの向きを定位置に戻します。
ZOOM	本製品では使用できません。
AUTO FOCUS	本製品では使用できません。
Pan	カメラの向きを左右移動範囲いっぱいまで往復し，元の位置で自動的に停止します。
Stop	移動中のカメラを停止します。

●PTZ（パン／チルト／ズームコントロール）の機能（2/2）

Patrol	パトロール機能を実行します。 パトロール機能の設定については，ユーザーズマニュアルのP87「パトロール機能の設定」を参照してください。
選択 （プルダウンボタン）	あらかじめ登録しておいたカメラ位置を選択することでカメラの向きを移動します。 設定位置は本製品の設定ユーティリティの［カメラコントロール］メニューで登録します。ユーザーズマニュアルのP141「［カメラコントロール］メニュー」を参照してください。

タブコントロール：アラートメッセージ

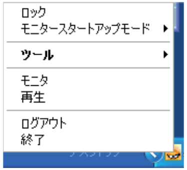
カメラの再起動およびイベント（動作検出）発生時に，カメラから受信したアラートメッセージを表示します。



3つの数字は，動作検出ウィンドウ（モーション検知のウィンドウ=アラート領域）の種類を意味しています。
ここでは3番目に“1”が表示されていますので，アラート領域（モーション検知のウィンドウ3）で被写体の動きを検出したことを示します。スケジュール録画をイベントモードで使用している場合は，連動して前後の映像が録画されます。

タスクバーのメニュー

タスクバーのメニューについて説明します。



●タスクバーのメニュー項目（1/2）

ロック	「モニタ」を起動したまま，操作をロックします。 メイン画面のロックボタンと同じ機能です（→P19）。
モニタースタート アップモード	「モニタ」の起動時，終了時の動作を設定します。 ここでの「Service」はスケジューラの設定を，「オートラン」はOS起動時のプログラム状態を示します。 **●Service：オートラン停止（初期値）** スケジューラのタスク　：「モニタ」終了後も実行 OS起動時の動作　　　：起動しない **●Service：オートラン** スケジューラのタスク　：「モニタ」終了後も実行 OS起動時の動作　　　：タスクバーに常駐 **●Non-Service** スケジューラのタスク　：「モニタ」終了時に停止 OS起動時の動作　　　：起動しない
ツール	サブメニューから次の機能を実行します。 **●パスワードの変更** 「モニタ」にログインしているユーザのパスワードを変更します。 **●ユーザ管理** ユーザの追加，変更，削除をおこないます。 詳細はP50「ユーザ管理」を参照してください。
モニタ	「モニタ」のメイン画面を表示します。 すでに実行中の場合は終了します。

●タスクバーのメニュー項目（2/2）

再生	「プレイバック」を起動します。 「プレイバック」についてはChapter 3「プレイバック」の操作をお読みください。
ログアウト	再生とモニタを終了し，ログアウトします。プログラムはタスクバーに常駐し続けます。
終了	「モニタ」を終了し，タスクトレイへの常駐を解除します。

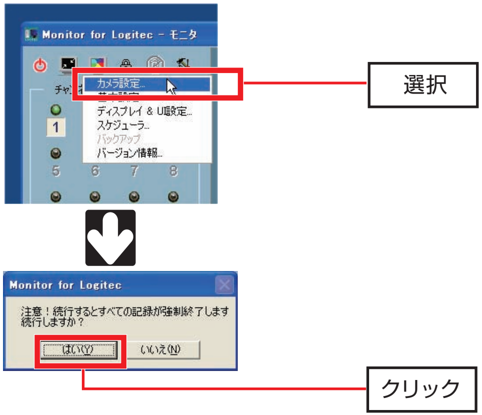
4 カメラを登録する

「モニタ」でカメラを制御するには，［チャンネル］にカメラを割り当てる（登録する）必要があります。
1〜16に1台ずつ，合計16台のカメラを登録して制御できます。
カメラの登録は，ルートグループのユーザのみ可能です（→P50「ユーザ管理」）。

カメラの登録

［チャンネル］にカメラを割り当てる手順を説明します。
カメラの登録はIPアドレス（またはドメイン）を指定しておこないます。あらかじめカメラの設定情報を手元に用意しておいてください。

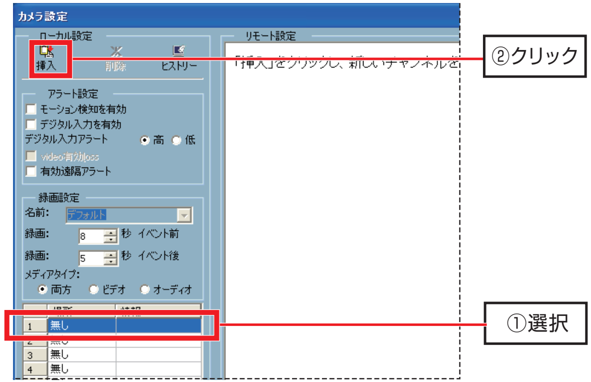
1 設定ボタンをクリックし，サブメニューから［カメラ設定］を選択します。
続行を確認するダイアログが表示されますので，［はい］をクリックします。



録画実行中に［カメラ設定］を選択すると，録画は強制的に終了します。

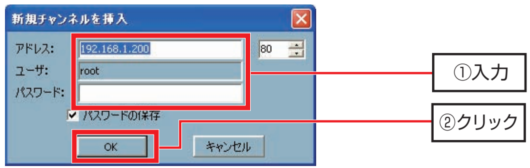
（「カメラの登録」のつづき）

2 登録したいチャンネル番号を選択し，［ローカル設定］の［挿入］をクリックします。



・まだカメラが登録されていないチャンネルは「無し」と表示されています。
・同じカメラを複数のチャンネルに登録することもできます。

3 ［新規チャンネルを挿入］ダイアログが表示されますので，登録するカメラの情報を入力し，［OK］をクリックします。



・アドレス
登録するカメラのIPアドレス（またはドメイン）を入力します。
カメラ側でポート番号を変更している場合は，初期値の「80」から変更します。

（「カメラの登録」のつづき）

・ユーザ

カメラの設定ユーティリティのログインユーザ名を入力します。
初期値の「root」から変更できません。

・パスワード

カメラの管理者（root）のパスワードを入力します（本製品の初期値は空欄です）。［パスワードの保存］にチェック（√）を付けると，以降のパスワード入力を省略できます。

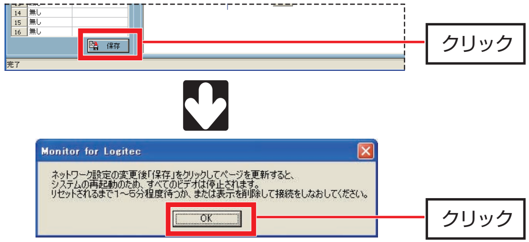
4 カメラへのログインに成功すると，カメラの設定ユーティリティのメイン画面が表示されます。



MEMO Webブラウザで設定ユーティリティの代わりに，この画面からカメラの設定をおこなうことができます。

（「カメラの登録」のつづき）

5 必要に応じて［アラート設定］，［録画設定］を変更し， 保存 をクリックします。確認ダイアログが表示されますので， OK をクリックします。



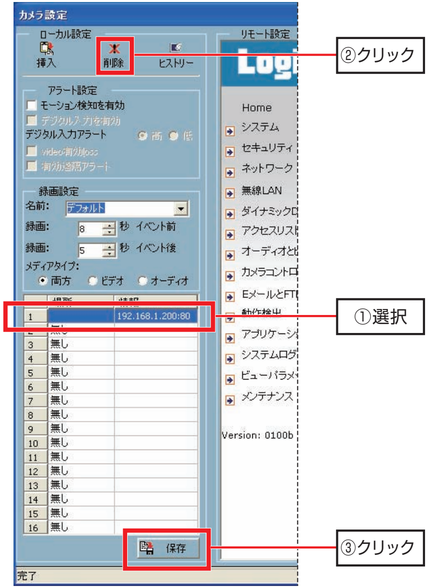
6 しばらくすると，メイン画面のビューにカメラの映像が表示されます。これでチャンネルへのカメラの登録は完了です。

もしビューに映像が表示されない場合は，チャンネル番号が黒字になっている（淡色表示になっていない）ことを確認し，チャンネル番号をビューにドラッグ&ドロップしてください。

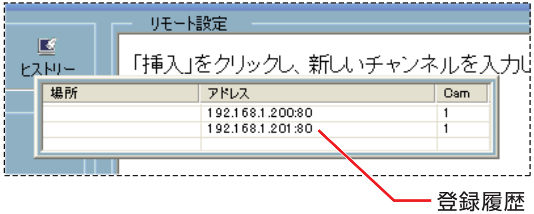


カメラの削除

チャンネルからカメラを削除するには，［カメラ設定］画面で削除したいチャンネルを選択し，削除をクリックします。
［カメラ設定］画面で削除を確認したら，保存をクリックして設定を保存します。



● ［ヒストリー］
［カメラ設定］画面の［ヒストリー］をクリックすると，過去にチャンネルに登録したカメラの履歴が表示されます。履歴をクリックすることで，チャンネルへの登録をすばやく実行できます。



5 カメラの映像をモニタする

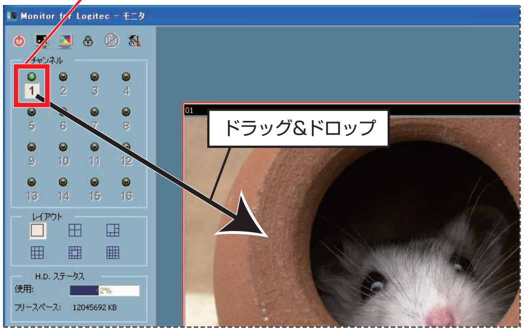
チャンネルへの割り当てが完了すれば，各カメラの映像をモニタできます。
ここでは，基本的なモニタ操作について説明します。

映像を表示する

［チャンネル］からチャンネル番号を選択し，表示させたいビューにドラッグ&ドロップすることで，カメラの映像を表示します。
ビューエリアに表示されているチャンネルは，インジケータが緑に点灯します。

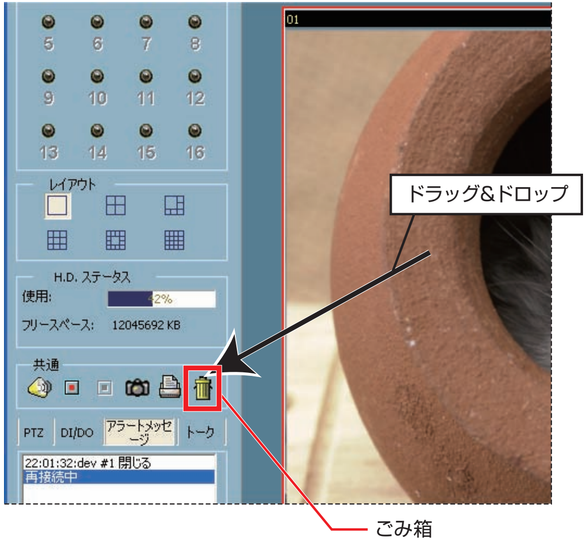
> 注意 ビュー内の表示位置は，レイアウトごとに保存されます。レイアウトを変更した場合は，ビューへの配置をやり直す必要があります。

表示中のチャンネルのインジケータが緑色に点灯します。



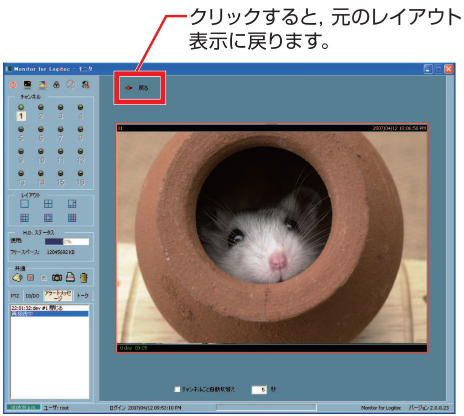
●ビューからの削除

ビューから映像を削除する場合は，削除したいビューを選択してごみ箱にドラッグ&ドロップします。



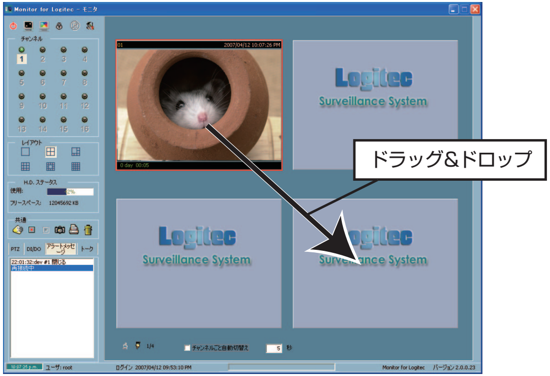
●一時的に1画面表示にする

分割表示中に特定のビューをダブルクリックすると，選択したビューを1分割で表示できます。［戻る］をクリックすると，元の分割表示に戻ります。



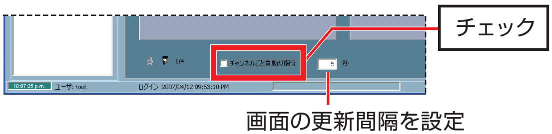
位置を変更する

ビューに表示された映像をドラッグ&ドロップすると，ビュー内の表示位置を変更できます。



映像を自動的に切り替える

レイアウトを1分割または4分割で使用している場合に，一定時間でビューエリアのページを自動的に切り替えることができます。



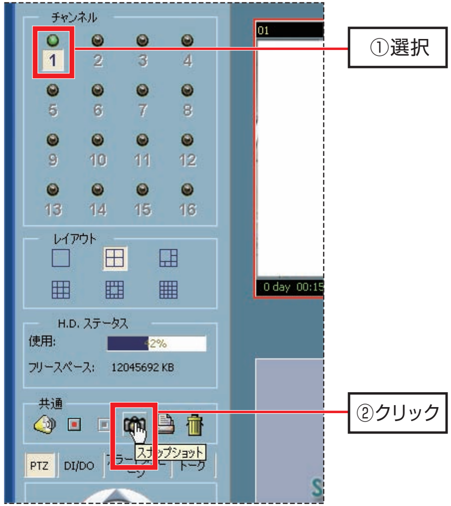
パン／チルト／オートパトロール

タブコントロールのPTZ（パン／チルト／ズームコントロール）から，チャンネルごとにカメラの向きを任意に変更できます。
詳細については，ユーザーズマニュアルのP107，108を参照してください。

6 スナップショットを保存する

「モニタ」では，モニタ中の映像のスナップショット（静止画）をハードディスクに保存できます。

スナップショットを保存するには，スナップショットを保存したいカメラをチャンネルまたはビューから選択し，［共通操作エリア］のスナップショットボタンをクリックします。



スナップショットの保存場所

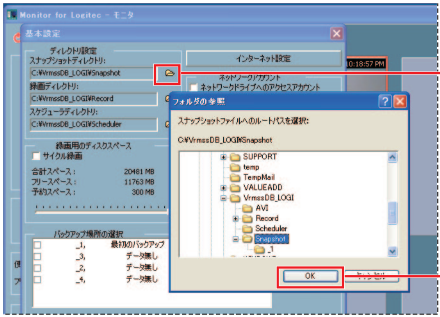
初期設定でのスナップショットの保存場所（ルートフォルダ）は次の通りです（OSの起動ドライブがCの場合）。

C:¥VrmssDB_LOGI¥Snapshot¥

ルートフォルダ以下には，チャンネルごとにサブフォルダが自動的に作成されます。たとえば，チャンネル1の保存場所は「¥（ルートフォルダ）¥_1」になります。

ルートフォルダの変更

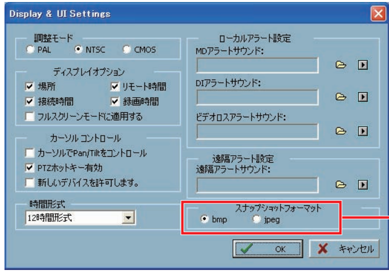
ルートフォルダは，（設定ボタン）→［基本設定］で変更できます。
［ディレクトリ設定］の［スナップショットディレクトリ］で変更します。



ファイル名，ファイルフォーマット

スナップショットは，初期設定ではビットマップ（bmp）形式で保存されます。
ファイル名は撮影時刻（パソコンの内部時計に依存します）から自動生成されます。
2007年4月12日の18時33分43秒に撮影されたスナップショットのファイル名は，「M2007041218334301.bmp」になります。

ファイルフォーマットには，JPEG形式も選択できます。
（設定ボタン）→［ディスプレイ&UI設定］→［スナップショットフォーマット］で変更します。



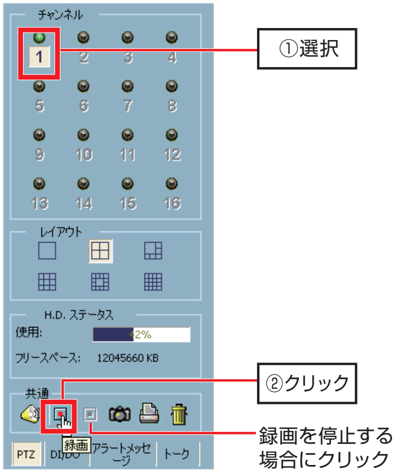
MEMO　スナップショットの撮影対象にもよりますが，一般的にJPEG形式はビットマップ形式に比べて，ファイル容量を1/30から1/40に削減できます。ハードディスクの残り容量が少ない場合など，ディスク容量を節約したい場合に変更してください。

7 カメラの映像を録画する（手動録画）

「モニタ」では，モニタ中の映像を録画し，ハードディスクに保存できます。

モニタ中の映像を録画するには，映像を録画したいカメラをチャンネルまたはビューから選択し，［共通］エリアの録画ボタンをクリックします。
録画を終える場合は，録画停止ボタンをクリックします。

MEMO 録画したデータの再生は，「プレイバック」でおこないます。
「プレイバック」については，Chapter 3をお読みください。



動画ファイルの保存場所

初期設定での動画ファイルの保存場所（ルートフォルダ）は次の通りです（OSの起動ドライブがCの場合）。

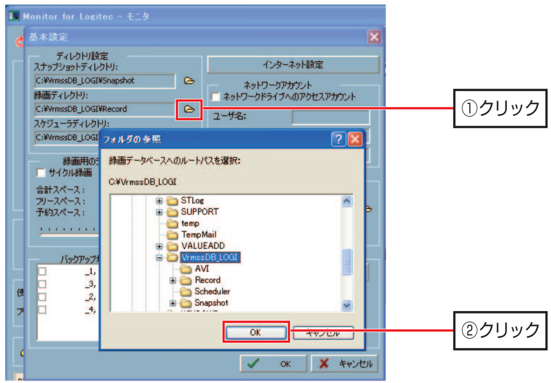
C:¥VrmssDB_LOGI¥Record¥

ルートフォルダ以下には，チャンネルごとにサブフォルダが自動的に作成されます。たとえば，チャンネル1の保存場所は「¥（ルートフォルダ）¥_1」になります。

注意 「モニタ」で録画したファイルは，「プレイバック」で閲覧することを前提にフォーマット，フォルダが構成されています。
チャンネルごとのサブフォルダの構成を手動で変更すると，「プレイバック」で正常に動画を再生できなくなる原因になります。

ルートフォルダの変更

ルートフォルダは，（設定ボタン）→［基本設定］で変更できます。
［ディレクトリ設定］の［録画ディレクトリ］で変更します。



ファイル名，ファイルフォーマット

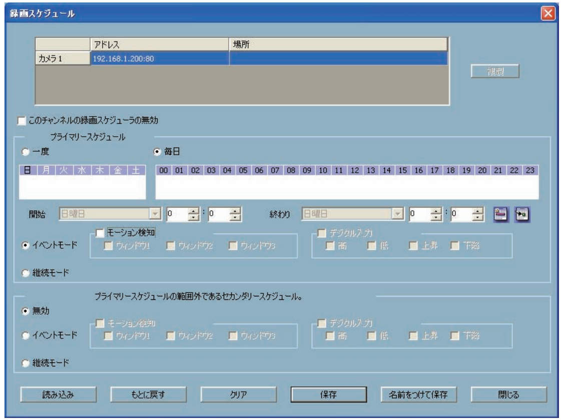
動画ファイルは，圧縮率を重視した「hgd形式」で保存されます。
本製品の添付の「プレイバック」以外で閲覧することはできません。
動画ファイルを他のアプリケーションで閲覧する場合は，「プレイバック」でAVI形式に変換してください。

> 注意 「モニタ」で録画したファイルは，「プレイバック」で閲覧することを前提にファイル名が決められています。
> ファイル名を手動で変更すると，「プレイバック」で正常に動画を再生できなくなる原因になります。

8 カメラの映像を録画する（スケジュール録画）

「モニタ」では，手動で録画するほか，スケジュールを登録しておき，決められた日，時間に自動で録画を実行できます。
また，動作検出をイベントトリガ（録画開始条件）として登録することで，映像に動きがあったときのみ録画をおこなうといった制御ができます。

スケジュールやイベントトリガの設定は，（設定ボタン）→［スケジューラ］でおこないます。
動作検出については，ユーザーズマニュアルのP147「［動作検出］メニュー」を参照してください。



> MEMO 本製品では，「デジタル入力」機能はサポートしていません。
> したがって，イベントトリガとして使用することもできません。

スケジュール設定

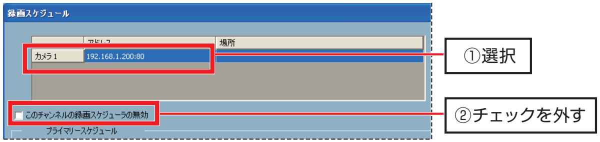
録画スケジュールの設定手順を説明します。
ここでは，プライマリースケジュールについてのみ説明します。

注意　スケジュール録画は，ハードディスクの容量を大量に消費します。十分に空き容量のあるドライブを用意し，録画ディレクトリ（→P44）に割り当ててください。

1 設定ボタンをクリックし，サブメニューから［スケジューラ］を選択します。［録画スケジュール］ウィンドウが表示されます。

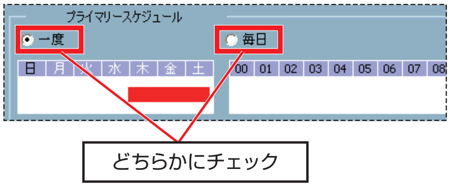
サブメニューの位置については，P29「カメラの登録」の手順1を参照してください。

2 画面上部のカメラ（チャンネル）一覧から，スケジュールを設定したいカメラを選択し，［このチャンネルの録画スケジューラの無効］のチェックを外します。



スケジュール録画中に手動録画を実行すると，［このチャンネルの録画スケジューラの無効］に自動的にチェックが入り，スケジュールが無効になります。

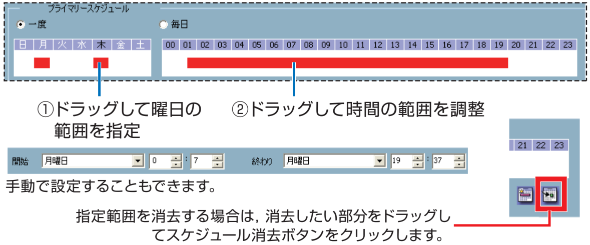
3 録画を実行する曜日により，ラジオボタンを選択します。



（「スケジュール設定」のつづき）

- **毎日実行する場合**
  ラジオボタン［毎日］をクリックして有効にします。
- **曜日を選択して実行する場合（実行しない曜日がある場合）**
  ラジオボタン［一度］をクリックして有効にします。

4 録画を実行する曜日と時間を設定します。



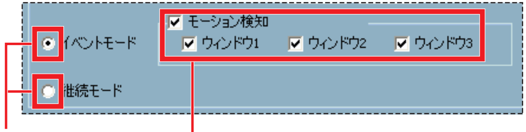
- **［一度］を選択した場合**
  録画したい曜日の範囲をドラッグすると，範囲が赤色の帯で表示されます。時間帯は［毎日］側に赤色の帯で表示されますので，ドラッグして調整します。曜日と時間を直接入力して設定することもできます。
  録画したい曜日ごとにこの作業を繰り返します。

- **［毎日］を選択した場合**
  録画したい時間帯をドラッグして調整します。時間を直接入力して設定することもできます。

MEMO　日をまたいだ時間帯（22時から翌日3時までなど）も設定できます。
設定をまちがえた場合は，まちがえた範囲をドラッグして選択し，スケジュール消去ボタンをクリックして削除します。

（「スケジュール設定」のつづき）

5 **録画モードを選択します。**



①どちらかにチェック　②イベントモード時の録画開始条件に使用する動作検出ウィンドウを指定

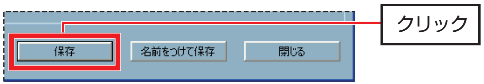
・**イベントモード**

動作検出（モーション検知）をトリガに前後の数秒を録画します。
［モーション検知］および動作検出ウィンドウにチェック（√）を付けます。
トリガ前後の録画範囲は［カメラ設定］の［録画設定］で調整できます。
撮影対象に動きがあった場合のみ録画することで，ハードディスク容量を節約できます。

・**継続モード**

動作検出に関係なく，設定した時間帯に継続して録画します。

6 **設定が終わったら，［保存］をクリックします。確認ダイアログの［OK］をクリックすれば，スケジュールの登録は完了です。**



［名前をつけて保存］を選択すると，スケジュール設定を外部ファイルに保存できます。

録画スケジュールに設定した時間帯は，タスクバーのアイコンが次のように変わります。



スケジュール範囲外　スケジュール範囲内（録画/録画待機中）

9 ユーザ管理

「モニタ」では，管理者ユーザ「root」のほかに，最大30名までユーザを登録できます。登録ユーザは次の3種類に分けて管理できます。

●ルート

すべての機能が利用できるユーザです。
初期状態では，「root」のみ登録されています。

●パワーユーザ

モニタ，再生機能（プレイバック）を利用できます。
スケジュールなど，「モニタ」の設定変更はできません。

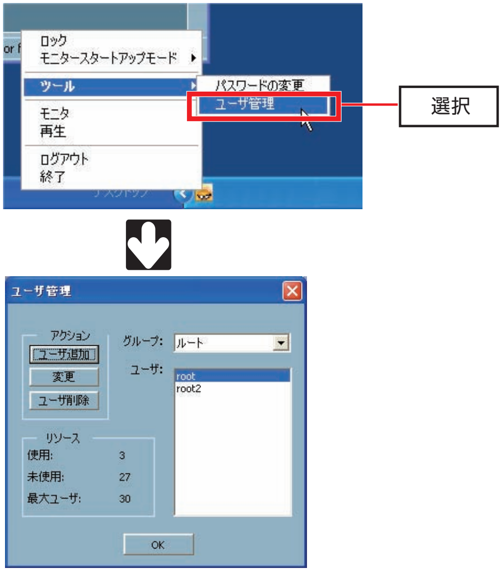
●一般ユーザ

モニタのみ利用できます。

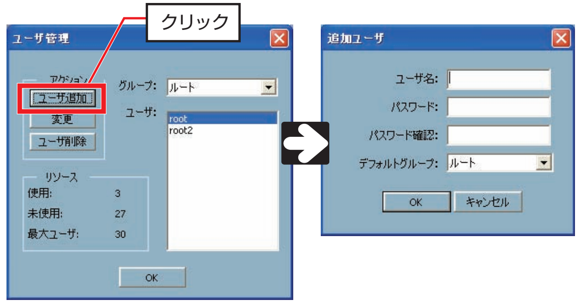
ユーザの登録

「モニタ」へのユーザ登録は，次の手順でおこないます。
ルート権限を持つユーザで「モニタ」を起動してから作業を始めてください。

1 タスクバーのメニューから［ツール］→［ユーザ管理］を選択し，［ユーザ管理］ダイアログを表示します。



2 ユーザ追加 をクリックし，［追加ユーザ］ダイアログを表示します。



3 ユーザ情報を登録し，OK をクリックします。

- **ユーザ名**
  14文字以内の半角英数字で入力します。
- **パスワード，パスワードの確認**
  6文字以上，14文字以内の半角英数字で入力します。確認のため，［パスワードの確認］にも同じパスワードを入力します。
- **デフォルトグループ**
  所属するグループをルート／パワーユーザ／一般ユーザから選択します。

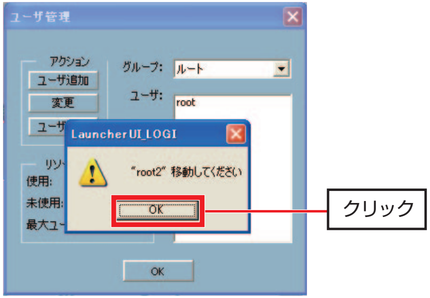
これでユーザの登録は完了です。［ユーザ管理］ダイアログの OK をクリックして，画面を閉じます。

ユーザの削除／変更

●ユーザの削除

ユーザを削除するには，［ユーザ管理］ダイアログでユーザを選択し，ユーザ削除 をクリックします。表示された確認ダイアログで，OK をクリックすれば，ユーザの削除は完了です。

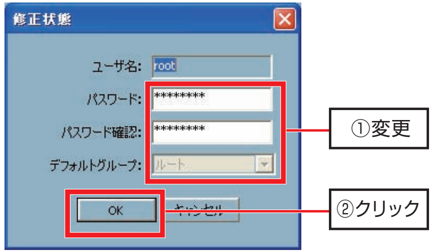
注意　「root」は削除できません。



●ユーザの変更

［ユーザ管理］ダイアログでユーザを選択し，ユーザ変更 をクリックします。［修正状態］ダイアログでパスワードと所属グループを変更できます。

注意　「root」はルートグループから移動できません。
ユーザ名は直接変更できません。いったんユーザを削除してから，新規ユーザを作成してください。



MEMO　ログインユーザ自身でパスワードを変更するには，タスクバーのメニューから［ツール］→［パスワードの変更］を選択しておこないます。

Chapter 3

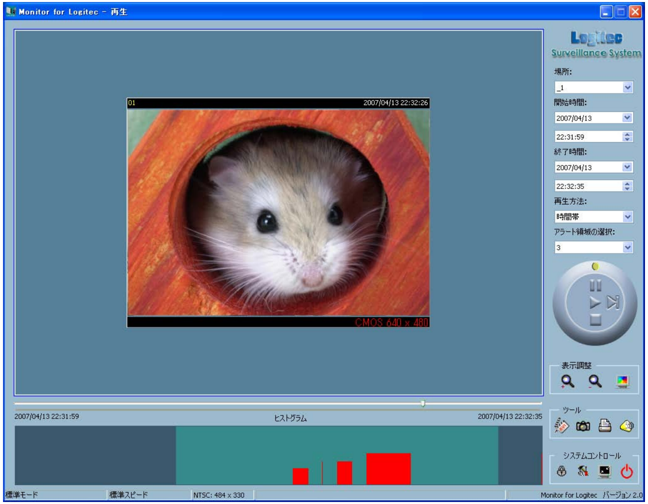
「プレイバック」の操作

本製品の添付ソフト「プレイバック」の基本操作について説明します。
「プレイバック」のインストール方法については，別冊の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

1 「プレイバック」について

「プレイバック」は，「モニタ」で録画した映像を再生するプログラムです。
単独での起動のほか，タスクバーで［再生］を選択して起動することで，「モニタ」と連携した録画／再生機能を提供します。

「プレイバック」では，カレンダー表示からすばやく目的の録画データを検索し，早送り，スロー再生などの多彩な再生が可能です。さらに，AVI形式に変換することで，他の動画再生／編集ソフトで録画データを利用できます。



2 起動と終了

「プレイバック」の起動方法／終了方法について説明します。

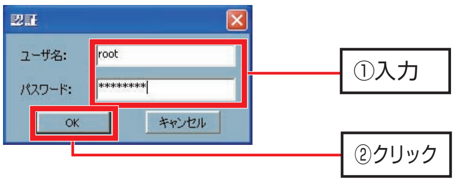
MEMO 「プレイバック」には単独のユーザ管理機能はなく，「モニタ」で登録したルートユーザ，パワーユーザはそのまま「プレイバック」も利用できます（一般ユーザは利用できません）。ユーザの登録／管理方法については，P50「ユーザ管理」を参照してください。

「プレイバック」の起動

「プレイバック」は次のいずれかの方法で起動します。

- デスクトップのアイコン（Camera Softプレイバック）をダブルクリックする。
- ［スタート］メニューから［(すべての)プログラム］→［Logitec］→［Camera Soft］→［プレイバック］を選択する。

「モニタ」が起動していない状態（タスクバーにアイコンが表示されていない）では認証画面が表示されます。［ユーザ名］に「root」，［パスワード］にインストール時に登録したパスワードを入力し，OK をクリックします。
「モニタ」が起動している場合は，認証画面は表示されません。

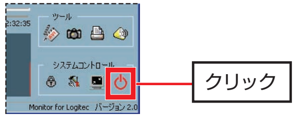


注意 「モニタ」が起動していない状態で「プレイバック」を起動するには，インストール時に登録したrootパスワードを入力する必要があります。パスワードを入力しないと「プレイバック」は起動できません。

「プレイバック」の終了

「プレイバック」は次のいずれかの方法で終了します。

● **「終了ボタン」をクリックする**
再生のみ終了します。この状態では，「モニタ」のプログラムがバックグラウンドで起動しています。完全に終了するにはタスクバーのアイコンをクリックし，［終了］を選択します。



● **タスクバーのメニューから［終了］を選択する**
「プレイバック」および「モニタ」を強制的に終了します。録画中のデータは停止します。

・操作手順については，P16を参照してください。
・ログアウトについては，P17を参照してください。

3 メイン画面

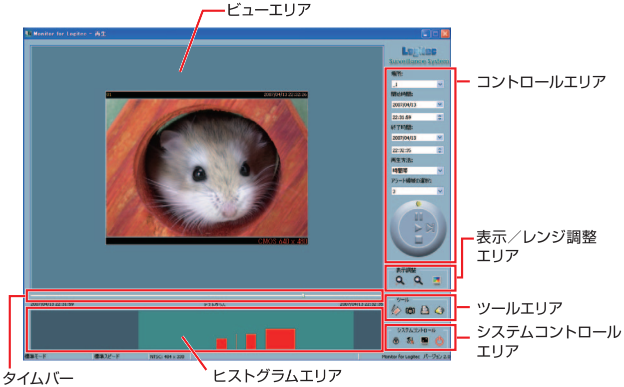
「プレイバック」のメイン画面の項目と機能について説明します。

メイン画面

メイン画面の項目と機能について説明します。
「プレイバック」には，次の2種類の再生モードがあります。

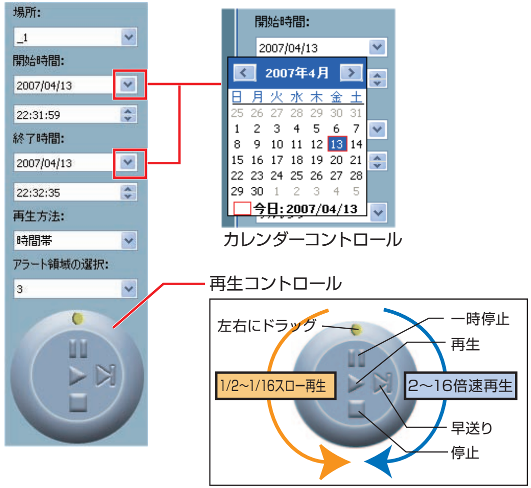
● **通常再生モード**
［再生方法］が［フルレンジ］または［時間帯］に設定されているときのモードです。時系列に沿って記録された動画を再生します。

● **イベントプレビューモード**
［再生方法］が［イベントのプレビュー］に設定されているときのモードです。イベントモードでスケジュール録画をおこなった場合に，イベント単位でプレビュー画面の一覧を表示／再生します。



コントロールエリア

データベースに登録された動画ファイルを検索し，再生するエリアです。



●コントロールエリアの機能（1/2）

場所	再生する動画の場所を選択します。 カメラを割り当てたチャンネル（1: “_1” ～16 : “_16” で選択するほか，「モニタ」の［カメラ設定］→［録画設定］で録画設定を変更した場合は，録画設定の名前が表示されます。 動画が保存されていないチャンネルは表示されません。
開始時間	再生開始時間を設定します。 初期状態では，選択したチャンネルに記録されている，一番古い時刻が表示されます。 日付の右のプルダウンボタンをクリックすると，カレンダーコントロールが表示されます。

●コントロールエリアの機能（2/2）

終了時間	再生終了時間を設定します。 初期状態では，選択したチャンネルに記録されている，一番新しい時刻が表示されます。 日付の右のプルダウンボタンをクリックすると，カレンダーコントロールが表示されます。
再生方法	再生方法を選択します。 ●フルレンジ 記録されているすべての動画を再生するモードです。プレイバック起動時の初期状態のモードです。 ●時間帯 開始時間，終了時間の設定，またはヒストグラムエリアにより再生時間帯を変更すると，自動的にこのモードになります。 ●イベントのプレビュー イベントモードでスケジュール録画をおこなった場合に，イベント単位でプレビュー画面の一覧を表示します。［アラート領域の選択］と組み合わせて使用します。表示期間内にイベントが発生していない場合は，プレビュー画面が表示されません。
アラート領域の選択	イベントモードでスケジュール録画をおこなった場合に，イベント対象の動作検出ウィンドウを1～3から選択します。「モニタ」の［録画スケジュール］ダイアログ［モーション検知］のウィンドウ1～3に対応しています（→P49の手順5）。 ［再生方法］で［イベントのプレビュー］を選択したときのみ有効です。
再生コントロール	動画の再生／停止，早送りなどを制御します。 詳細はP60の図を参照してください。

表示／レンジ調整エリア

マウスカーソルが［ヒストグラムエリア］以外にある場合は，［表示調整］と表示され，ビューの再生画面の大きさを変更します。



マウスカーソルをいったん［ヒストグラムエリア］に移動してから，このエリアにカーソルを移動すると，［レンジの調整］と表示され，ヒストグラムの表示時間範囲を変更します。



●表示調整エリアの機能

 （拡大ボタン）	ビューエリアの再生画面を拡大します。
 （縮小ボタン）	ビューエリアの再生画面を縮小します。
 （フルスクリーンボタン）	ビューエリアの再生画面をフルスクリーン表示にします。 元に戻すには，表示画面をダブルクリックします。

●レンジ調整エリアの機能（1/2）

 （拡大ボタン）	ヒストグラムに表示する時間範囲を拡大します。 自動的に［再生方法］が［時間帯］に変更され，動画の再生範囲が狭く（短く）なります。
 （縮小ボタン）	ヒストグラムに表示する時間範囲を縮小します。 動画の再生範囲が広く（長く）なります。 何回かこのボタンを押すと，ヒストグラム内にすべての時間が表示されるようになり，ボタンが押せなくなります（＝フルレンジ表示）。

●レンジ調整エリアの機能（2/2）

 （フルレンジボタン）	ヒストグラムに表示する時間範囲を最大（すべての時間＝フルレンジ）にします。 自動的に［再生方法］が［フルレンジ］に戻ります。

ツールエリア

AVIファイルへの変換，スナップショットの保存などを制御するエリアです。



●ツールエリアの機能

 （トランジューサボタン）	ヒストグラムに表示された範囲の動画をAVI形式に変換します。詳細は，P75「動画をAVI形式に変換する」を参照してください。
 （スナップショットボタン）	ボタンを押したタイミングで，再生中の動画をキャプチャし静止画像（スナップショット）として保存します。 詳細は，P72「スナップショットを保存する」を参照してください。
 （印刷ボタン）	ボタンを押したタイミングで，再生中の動画のキャプチャ画像をプリンタに印刷します。
 （音量ボタン）	再生中の音量を調整します。［ミュート］にチェック（√）を付けると，消音になります。

システムコントロールエリア

「プレイバック」全体の制御をおこなうボタンが配置されたエリアです。



●システムコントロールエリアの機能

 （ロックボタン）	「プレイバック」を起動したまま，操作をロックします。ロックを解除するには，表示されている［ロック解除］ダイアログに，登録済みのユーザ名とパスワードを入力して OK をクリックします。 ［ロック解除］ダイアログは一定時間経過後に自動的に閉じますが，タスクバーのアイコンをクリックすると，再び表示されます。
 （設定ボタン）	［設定］ダイアログを表示します。 次の詳細設定項目を変更できます。 ・データベースの保存場所　・AVI，オーディオ圧縮 ・AVIファイルの保存場所 ・スナップショットファイルの保存場所，フォーマット ・コントロールエリアの位置 ・表示時間形式
 （最小化ボタン）	ウィンドウの表示を最小化します。
 （終了ボタン）	「プレイバック」を終了します。

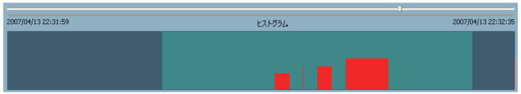
タイムバー

動画再生位置を示します。つまみをドラッグすると，任意の再生位置に移動できます。

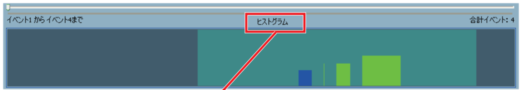
ヒストグラムエリア

表示された時間範囲内のイベントの有無／種類，動画データの有無を表示するほか，ドラッグにより直感的にすばやく動画再生範囲を変更できます。
エリア上部の「ヒストグラム」の文字をクリックすると，凡例が表示されます。

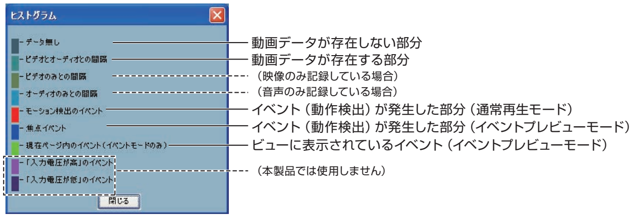
●通常再生モード



●イベントプレビューモード

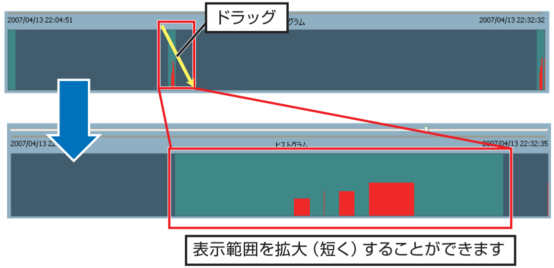


●ヒストグラムエリアの凡例



● ドラッグによる再生範囲の拡大

ヒストグラムエリアで拡大したい範囲をドラッグすると，ドラッグした範囲を最大表示範囲として表示が更新されます。
イベントが発生した箇所を拡大して，動きのあった場所を検索するときなどに便利です。



● 再生箇所の直接指定

ヒストグラムエリアの，動画データが存在する部分（P65のヒストグラムの凡例を参照）をクリックすると，直接その部分にジャンプできます。

また，ヒストグラム内にマウスをポイントすると，ポイントした場所の録画時刻がチップヘルプで表示されます。この表示を利用して検索することもできます。

4 動画の再生

「プレイバック」には，次の2種類の再生モードがあります。

● **通常再生モード**（P67）
主に「モニタ」で手動録画した場合，および継続モードでスケジュール録画したデータを再生するときに選択します。時系列に沿って記録された動画を再生します。

● **イベントプレビューモード**（P68）
「モニタ」で，動作検出をイベントとしてスケジュール録画をおこなった場合に選択します。イベント単位でプレビュー画面の一覧が表示され，動きのあった部分をすばやく検索して再生できます。

通常再生モード

「プレイバック」を起動すると，［再生方法］が［フルレンジ］に設定され，通常再生モードで自動的に動画の再生を始めます。

再生箇所の絞り込み

［フルレンジ］での再生では，選択したチャンネルに記録された動画がすべて再生されます。
再生したい箇所の絞り込み／検索は，次の方法でおこないます。

● **コントロールエリアを利用して録画した日時，時間を絞り込む**
コントロールエリアのカレンダーコントロール（P60）を利用すると，カレンダー表示により録画日時をすばやく設定できます。録画日まで絞り込んだあとは，［レンジの調整］（P62）を利用して，細かい範囲を絞り込みます。

● **ヒストグラムエリアを利用して録画した日時，時間を絞り込む**
ヒストグラムエリア内でドラッグすると，ドラッグした範囲を最大時間として再生を繰り返します。
この作業を繰り返し，タイムバーと併用することで，直感的に再生箇所を

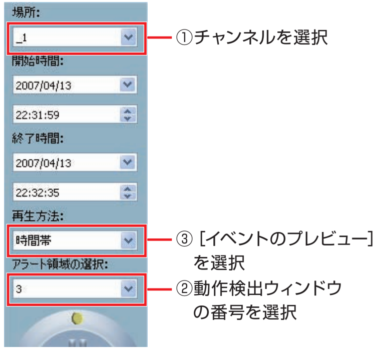
絞り込むことができます。
ヒストグラムエリアについては，P65を参照してください。

イベントプレビューモード

イベントモードでスケジュール録画したデータを再生する場合は，イベントプレビューモードで再生すると便利です。

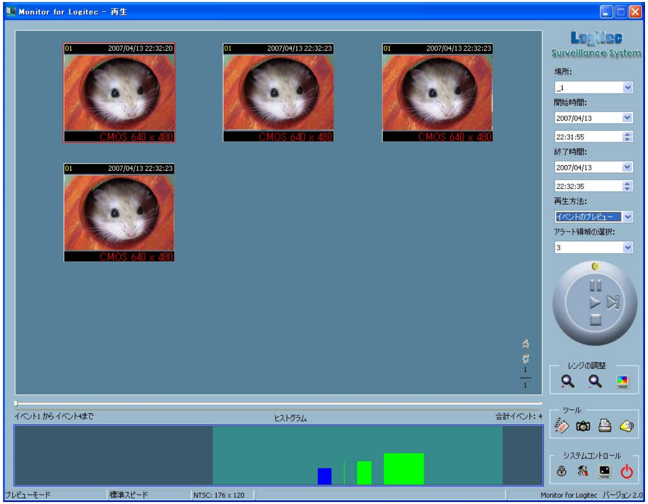
イベントプレビューモードへの変更

イベントプレビューモードで再生するには，次の手順で設定を変更します。



① コントロールエリアの［場所］でチャンネルを選択します。
②［アラート領域の選択］でウィンドウ番号（1〜3）を選択します。［モニタ］の［録画スケジュール］（→P49の手順5）で指定した番号と同じものを指定します。
※「デジタル端子入力」機能は本製品にはありません。
③［再生方法］から［イベントのプレビュー］を選択します。

④ イベントの一覧がプレビュー表示されます。



イベントプレビューモードの操作

イベントプレビューモードの操作について説明します。

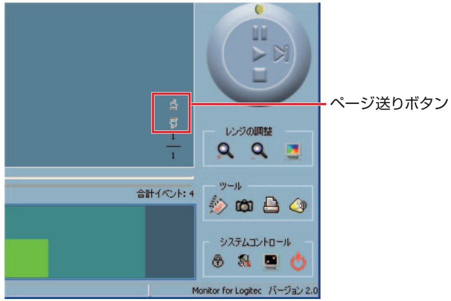
● 1画面で表示する

プレビュー画像をダブルクリックすると1画面表示になります。［戻る］をクリックすると，プレビュー一覧に戻ります。



● ページ送り

プレビューがたくさんあり，1画面に表示できない場合（9画面以上）は，ページ送りボタンが表示されます。ページ送りボタンをクリックすると，次のページに移動します。



● **再生箇所の絞り込み**

通常再生モードと同様に，コントロールエリア，ヒストグラムエリアを利用した時間範囲の絞り込みができます。
再生箇所を絞り込むと，範囲内のプレビューのみ表示され，イベント箇所を探しやすくなります。

5 スナップショットを保存する

「プレイバック」では，「モニタ」と同様に，再生中の動画のスナップショット（静止画）をハードディスクに保存できます。
スナップショットを保存するには，［ツールエリア］のスナップショットボタンをクリックします。



スナップショットの保存場所

初期設定でのスナップショットの保存場所（ルートフォルダ）は次の通りです（OSの起動ドライブがCの場合）。

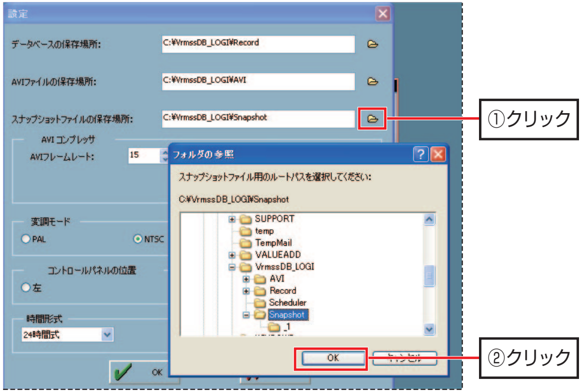
C:¥VrmssDB_LOGI¥Snapshot¥

ルートフォルダ以下には，チャンネルごとにサブフォルダが自動的に作成されます。たとえば，チャンネル1の保存場所は「¥（ルートフォルダ）¥_1」になります。

注意 スナップショットの保存場所は，「モニタ」と共通です。

ルートフォルダの変更

ルートフォルダは，［システムコントロール］の［設定］で変更できます。
［スナップショットファイルの保存場所］で変更します。



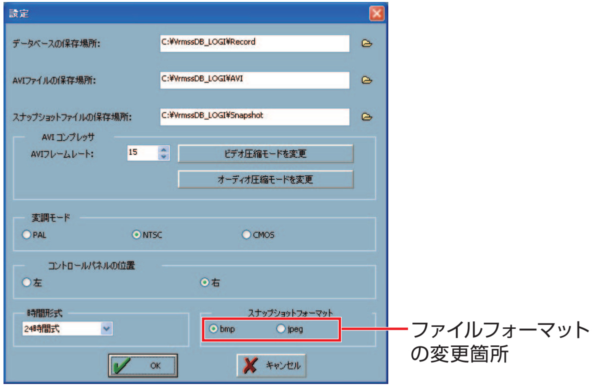
注意 スナップショットの保存場所は，「モニタ」と共通です。ルートフォルダを変更すると，「モニタ」の設定も変更されます。

ファイル名，ファイルフォーマット

スナップショットのファイル名，ファイルフォーマットは，「モニタ」と同様です。P42「ファイル名，ファイルフォーマット」を参照してください。

ファイルフォーマットは，システムコントロール］の［設定］で変更できます。
［スナップショットフォーマット］で変更します。

注意 スナップショットのファイルフォーマットを変更すると，「モニタ」の設定も変更されます。



6 動画をAVI形式に変換する

「モニタ」で録画した動画ファイルは，圧縮率を重視した「hgd形式」です。
他のアプリケーションで使用するには，Windows Media Playerなどで再生可能な「AVI形式」に変換する必要があります。

AVI形式に変換するには，［ツールエリア］のトランジューサボタンをクリックします。これにより，表示されている時間帯の動画がすべてAVI形式に変換されます。

変換が終わると，確認ダイアログが表示されますので，OK をクリックして，変換を完了します。

> 注意 AVI形式に変換すると，ファイル容量がhgd形式より大幅に増大します。
> 十分に空き容量のあるドライブを用意し，AVIファイルの保存場所（→P76）に割り当ててください。
> また，1ファイルの容量が4GB（ギガバイト）を越えると，OSによっては再生できないことがあります。



AVIファイルの保存場所

初期設定でのAVIファイルの保存場所（ルートフォルダ）は次の通りです（OSの起動ドライブがCの場合）。

C:¥VrmssDB_LOGI¥AVI¥

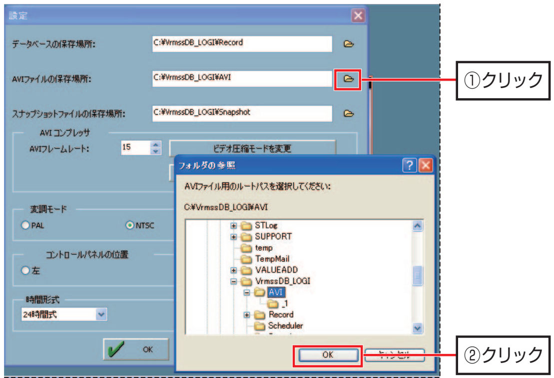
ルートフォルダ以下には，チャンネルごとにサブフォルダが自動的に作成されます。たとえば，チャンネル1の保存場所は「¥（ルートフォルダ）¥_1」になります。

> 注意 サブフォルダの構成を手動で変更すると，「プレイバック」で正常に動画を再生できなくなる原因になります。

> MEMO イベントモードでのスケジュール録画では，イベント単位でファイルが生成されます。

ルートフォルダの変更

ルートフォルダは，［システムコントロール］の［設定］を選択して表示されるダイアログの［AVIファイルの保存場所］で変更します。

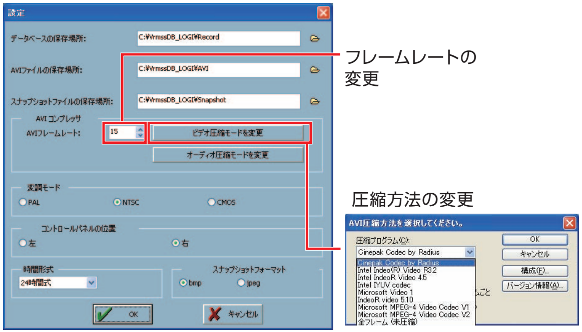


ファイル名，ファイルフォーマット

ファイル名は撮影時刻（パソコンの内部時計に依存します）から自動生成されます。2007年4月12日の18時33分43秒に記録された動画のファイル名は，「M2007041218334301.avi」になります。

AVIファイルの圧縮率，圧縮モードは，［システムコントロール］の［設定］を選択して表示されるダイアログの［AVIコンプレッサ］で変更します。

> 注意　AVIの圧縮方式を変更すると，ソフトウェアによっては正常に再生できなくなることがあります。利用ソフト側で正常に再生できるか確認のうえ設定を変更してください。



ネットワークカメラ　添付ソフト操作マニュアル（LAN-WC30/PT，LAN-NC30/PT用）
発行　ロジテック株式会社　2007年4月　第1版

0704-WLAN-031N

Logitec